

第二十二回中央教化研究会議誓願文

私たち第二十二回中央教化研究会議参加者一同は、九月五日・六日の両日にわたり、池上本門寺を会場に「社会にいかすお題目総弘通運動―みなおそう運動の実態―」を統一テーマとして真剣な討議を重ね、次のことを確認いたします。

我々日蓮宗僧侶は、日蓮聖人の教えのより真実な姿を求め、その教えに基づいた指導を大切に身近な信仰問題についても教化学の確立を目指し、檀家制度に安住することなく現代社会に活躍出来る教師を養成するよう努力し、改めて信行道場等の教育機関の点検改善を行なうよう決意しております。

さらに、青少年教化の組織化、世代間にわたる教化の展開、寺院を活性化するための中央と地域教化センターのシステム化等を実現し、高齢化社会の問題、医療問題等、現実社会に起る諸問題に対しても、日蓮聖人の教えを深く見詰め、これを実現するよう努力いたします。

また、日蓮聖人の理想は、立正安国、仏国土顕現にありますから、核兵器、原発に象徴される地球規模の危機を認識し、これらの問題が我々の生き方「いのち」と身近につながっているものとして、広く訴え努力いたします。

以上、日蓮聖人の御前に決意誓願するものであります。

平成元年九月六日

第二十二回中央教化研究会議参加者一同